



2023年8月5日（土）— 11月26日（日）

概要

現チェコ共和国モラヴィア地方出身の芸術家Alfons Mucha。
19世紀末のパリをポスターで虜にした彼は、日本ではチェコ語読みのムハよりもフランス読みの“ミュシャ”で親しまれています。

本展では、パリで活躍しながらも「芸術の力でチェコとスラヴ民族の団結に貢献したい。」という壮大な夢を実現していくムハの姿を追いかけます。
どのように夢が芽生え、どのような表現となって叶えたのか、作品の中に散りばめられた夢のカケラを探しながら、ムハのチェコへの想いにも改めてせまります。

さらに今回、ムハの夢とプラハの日本人作家の夢が重なります。人形劇の国チェコのプラハを拠点に活躍する人形作家林由未が本展のために新作を制作。ムハの作品から導かれた先に広がる人形たちの世界もご体感ください。

展覧会名	企画展「アルフォンス・ムハ モラヴィアン・ドリーム!」
会期	前期：2023年8月5日(土)から10月1日(日)まで 後期：2023年10月5日(木)から11月26日(日)まで
会場	堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）
開館時間	午前9時30分から午後5時15分(入館は午後4時30分まで)
休館日	月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日（9月19日、10月10日、11月24日）、 展示替臨時休館日（10月3日、10月4日）
観覧料	一般510円(410円)、高校・大学生310円(250円)、小・中学生100円(80円) ＊()は20人以上100人未満の団体料金
主催	公益財団法人堺市文化振興財団、堺 アルフォンス・ミュシャ館 ＊本企画展は大阪府芸術文化振興事業の助成事業です。
後援	在堺チェコ共和国名誉領事館、堺市教育委員会
協力	Arts and Theatre Institute、チェコセンター東京、OGATAコレクション、国立民族学博物館 日本玩具博物館

大阪府芸術文化振興事業

大阪府文化振興基金
Osaka Prefectural Fund
for The Enhancement
of Cultural Activities

お問合せ 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：原田、川口、高原
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com>

HP▶



見どころ

- ① チェコ在住の人形作家、林由未とミュシャのコラボレーションが実現！
- ② 本物のチェコの民族衣装が会場にやってきます！
- ③ ミュシャがプロデュースした幻の水上劇をご紹介します！

展示構成

Section 1 パリの夢

パリ時代の個展に見立てた展示空間でパリを魅了したムハの多彩な作品をご覧ください。

Section 2 覚醒のパリ万国博覧会 - 目覚めた先の夢

自身のルーツに向き合うきっかけとなった1900年パリ万国博覧会で手がけたボスニア・ヘルツェゴビナ館の壁画の大型下絵をご覧ください。

Section 3 高まるチェコシック - 夢を叶えたい場所

作品の舞台はチェコへ。ミュシャが描いた民族衣装を着た少女の版画や油彩画と合わせて本物のチェコの民族衣装をお楽しみください。

Section 4 林由未とムハの世界

人形劇舞台美術家／人形作家・林由未がミュシャの作品にインスピレーションを得て制作した新作で時代を越えた日本とチェコの芸術家の交流をお楽しみください。

Section 5 夢を実現したムハ・スタイル

《スラヴ叙事詩》の大連作で夢を叶えたムハ。スラヴ叙事詩の実演とも言える、ヴルタヴァ川で上演予定だったムハプロデュースの幻のパフォーマンス「同胞のスラヴ」のパネル展示など、故郷チェコでの作品をご紹介します。

<作家プロフィール>

林 由未 Yumi Hayashi

プラハ在住。

人形劇舞台美術家・人形作家

横浜市出身。大学時代から、独自に人形制作を開始。舞台上での表現をより学ぶため、チェコ共和国に渡り、チェコ国立美術アカデミー人形劇学部舞台美術科大学院にて、ペトル・マターセクに師事。現在フリーの舞台人形美術家・造形作家として活動。＊本展では林由未が2019年から携わる阪急うめだ本店クリスマスショーウィンドーから2021年の「くるみ割り人形」も再編成して展示。



関連イベント

①ワークショップ「鉄柱入りあやつり人形作り」

日時：2023年8月5日（土）13：00～（2時間程度）

講師：林由未（人形舞台美術家）

参加費：有料（材料費）※本展会期中の観覧券（半券可）の提示要。

②石版画（リトグラフ）ってなあに？紙平版画を体験しよう！

日時：2023年8月19日（土）①10:30～12:00②13:30～15:00（各回90分）

講師：稲田大祐（相模女子大学教授）

参加費：有料（材料費）※本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です。

③人形劇上演「きんいろの髪のお姫さま」

日時：8月26日（土）14:00～（60分）

出演：谷口直子（Divadlo501）美術：林由未

参加費：中学生以下無料（要観覧料）高校生以上300円（要観覧料）※本展会期中の観覧券（半券可）の提示要。

④講演会「Muchaの故郷チェコ♡美味しい楽しいチェコバナシ」

日時：9月24日（日）、10月9日（月・祝）各日14：00～（40分程度）

講師：スザンカ・ハニバロヴァー

参加費：無料 ※本展会期中の観覧券（半券可）の提示要。

⑤学芸員によるスライド・トーク

日時：10月1日（日）14：00～（1時間程度）

講師：原田悠里（本展担当学芸員）

参加費：無料 ※本展会期中の観覧券（半券可）の提示要。

※イベントの内容や開催時期、申込方法などの詳細は、堺 アルフォンス・ミュシャ館ホームページをご覧ください。ホームページは随時更新します。



〔 広報用 画像 〕 以下の広報用画像および本展ポスター・チラシ（表）画像を、プレス掲載用にご用意しました。FAXまたはメールでお申込みください。

○FAXでのお申込み

次ページの＜画像利用申込書＞をご記入の上お送りください。

○メールでのお申込み（メール：muchasakai@sakai-bunshin.com）

上記アドレスにご連絡下さい。追って、申込フォームを返信いたします。

〔使用条件〕

*画像データの使用用途は、本展の紹介に限ります。二次使用は禁止いたします。

*掲載にあたっては各作品のキャプションとクレジットをご明記ください。

*トリミングや文字載せ等の加工はご遠慮ください。

*掲載誌（紙）を2部、当館へご恵贈ください。



花



ヒヤシンス姫



第8回ソコル祭



チェコの少女の肖像



ヒヤシンス姫（林由未）



民族衣装の少女（林由未）



画像利用申込書

FAX 072-222-6116

〔 利用情報 〕

お申込み日	年	月	日
会社名			
部署名			
お名前			
メールアドレス	@		
電話番号		FAX番号	
住所	〒		

〔 画像利用
について 〕

画像到着希望日	年	月	日
画像の利用目的			
媒体名			
媒体種別	新聞 ・ 雑誌 ・ その他 ()		
公開予定日	年	月	日
掲載誌 (紙) の ご恵贈 (2部)	年	月	日 頃予定

〔 利用希望
画像 〕

○印	画像番号／作品名 (ご明記いただくキャプション)
	1 アルフォンス・ミュシャ 《花》 1897年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
	2 アルフォンス・ミュシャ 《ヒヤシンス姫》 1911年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
	3 アルフォンス・ミュシャ 《第8回ソコル祭》 1925年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
	4 アルフォンス・ミュシャ 《チェコの少女の肖像》 1915年 油彩、カルトン 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
	5 林 由未 《ヒヤシンス姫》 2023年 個人蔵
	6 林 由未 《民族衣装の少女》 2023年 個人蔵
	本展ポスター・チラシ画像 (1ページ目掲載の画像)

